



◎国語「いざというときのために」

地震について調べて、防災についての提案書を作りました。一人一人が地震に対する備えや対策について、タブレットの Pages のアプリを使って自分の意見をまとめました。文章の構成を工夫して、自分の考えが根拠を明確に伝わるように、写真やイラスト、グラフなどの資料を活用して作ることができました。

地震に備えて

みなさんの家では、家具を固定したり、非常食や水の用意をしたりしているでしょうか。もし、家具を固定していないまま地震が起きたら、家具が落ちてきたり、家の窓ガラスが割れたりするかも知れません。そこで、私たちに、どのような備えができるでしょうか。

まず、できることは家具の固定です。資料①のように、タンスなど大きな家具を固定するときは、ボール式器具で天井とタンスの間に挟むことで固定できます。また、タンスなどの下にストッパー式器具を挟みこんで固定するのも効果的です。

日本では、大きな地震がいくつも起きているため、地震の恐ろしさは多くの人に知られているはずですが、資料②を見ると災害への備えの質問に対し、備えをしていない人は約65%にもおよびます。逆に、備えをしている人は約35%ほどで、備えをしている人の数が少ないようです。

最後に、すぐにできる備えです。すぐにできる備えは、最初に言ったようにタンスなどの家具を固定することや、非常食の用意や水の用意です。非常食や水の用意をしておくとい量は、最低でも3日分、できれば1週間分の非常食や水の用意が良いです。1週間分の食料や水は、1人あたり水が21L、お米（非常食）2kgが目安です。早めに備えることをおすすめします。

命は大切です。自分の命を守るために家具を固定したり、非常食や水の用意をしたりすることをおすすめします。

地震と非常用バック

みなさんの家には地震がおきたときにすぐに持ち出せる非常用バックはありますか？非常用バックの中には水・食料はしっかりとありますか？どのような物を用意すれば良いのか、考えてみましょう。

まず、水を用意しましょう。一人当たり1日3リットルの水が必要と言われています。最低3日分として9リットルが必要とされています。非常用食料品で買っておくのが良いのが、水・乾麺(うどん・そば)・レトルト食品・缶詰などが良いでしょう。今は、缶に入った「カンパン・ビスケット」などもあるので参考してみてください。

非常用バックを用意してある人は用意をしても買っておいた食料が賞味期限(消費期限)切れかもしません。資料②を見ると非常用バックの中を確認したのは、1年以内にしたという人もいますがしていないという人が約45%です。避妊しないといけない時にバックの中に期限切れの物が入っていたらまずいですね。だから一度バックの中を確認して期限切れになりそうな物は美味しく食べた買戻ししておきましょう。

私たちにできる事は水・食料を備えておくこと。そして何より大切な命をより多く守っていきましょう。

質問	回答
非常用バックを確認したかどうか	確認した 65% 確認していない 35%

地震の対策をしよう

みなさんは、地震の恐ろしさをよく知っていますか？地震が起きたら建物が増えたり、食べ物がなくなったりします。ほくち、実際に大地震を体験したことはありませんが、今回詳しく調べてみると、いろいろなのが分りました。

例えば、1995年に起こった阪神・淡路大震災では、死者6434人、建物倒壊数6742棟の被害が発生しました。そしてその16年後、東日本大震災が起きました。東日本大震災では18131人の死者、8万3000棟もの建物が倒壊しました。この地震は日本最大級の地震となり大きな被害が出ました。

このような大地震では、一体どんな被害があったのでしょうか。

まずは津波が一般的です。津波とは海沿いの地面が上がりすぎて大きな波が地上に広がる災害です。次に、ライフラインが壊れなくなることで、どう対策すれば良いのでしょうか？まずはすぐにできることとして、「家具の固定」「飲料・食料の備蓄」「防災バッグの準備」の3つがあげられます。家具を固定して置くこと、地震が起きたときに倒れてくるのを防ぐことができます。食料もなるべくたくさん確保しておきましょう。防災バッグヘルメットやハードマップを入れておけば安全性が高まります。

このように、地震はいつでも起こります。そんな時に、何も準備をしていないと命の危険があるかもしれません。なので、対策の力を考えて、実際に準備をしておくのが大切です。みなさんの家では、しっかりと地震の対策をしていますか？

◎グリーンバックを活用した動画作成

総合の学習発表会や、英語の発表の際に、グリーンバックを活用して動画を作成しました。発表の内容に合わせて写真を選び、台本も自分たちで作成し、相手が興味をもって発表を聞いてくれるように工夫して動画を作りました。字幕をつけるグループや、身振り手振りを加えて紹介するグループなど、それぞれが個性を出しながら動画を作ることができました。授業で学んだこと以上に、様々な操作を自分たちで取り入れて工夫する姿をたくさん見るすることができました。

